

次世代 エネ 秋田に供給拠点

県内企業とコンソーシアム

大日本コンサル

大日本コンサルタントは、秋田県を起点とした水素やアンモニアなどの次世代エネルギー

のサプライチェーン構築を目指す、課題の共有や調査研究、ビジネスモデルの検討などを行う場として、同県内企業などと「(仮称)あきた次世代エネルギーコンソーシアム(ANECIIエネック)」を設立する。7月5日に予定する設立総会を経て正式に発足、同県が日本の次世代エネルギーの供給拠点となり、ゲ

リーンエネルギーをけん引する、持続可能で活力ある地域となるよう活動していく。

同社は、国内屈指の風力発電ポテンシャルを有する秋田港周辺を対象に、既存のインフラを活用して再エネ水素供給モデルのコスト低減化を図り、早期に社会実装可能な水素サプライチェーン実現を目指すFS(実現可能性)調査に、同県内の複数の企業と連携して取り組んでいる。

今回設立するコンソーシアムは、FS調査の結果を踏まえ、同県内での余剰電力を活用した安価で安定的な水素エ

ネルギーなどの普及・拡大に向けたビジネスモデルを開発・構築し、検証するとともに、県内外に広く展開することで脱炭素化の推進と地域活性化に寄与することが狙い。

設立発起人は、秋田大理工学部システムデザイン工学科土木環境工学コースの浜岡秀勝教授、秋印の三浦征善代表取締役、秋田いすゞ自動車の辻良之社長、秋田海陸の西宮公平社長、ウエンティ・ジャパンの佐藤裕之社長、大日本コンサルタントの酒井康弘執行役員環境エネルギー推進部長、三國商事の三國晋一郎専務の7人。

7月5日には設立総会とともに、設立記念シンポジウムと懇親会も開く予定だ。詳細はホームページ(<https://ane-cakita.com>)。

